

経営比較分析表（令和4年度決算）

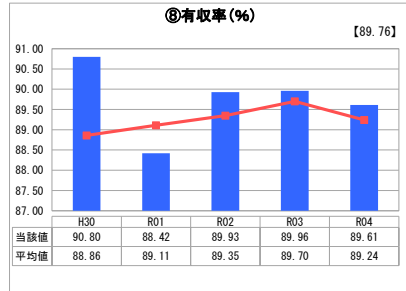
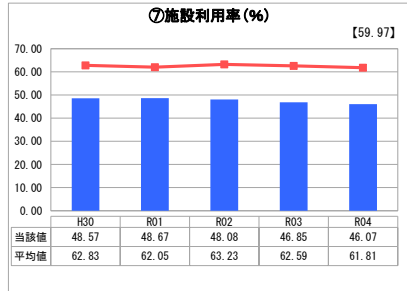
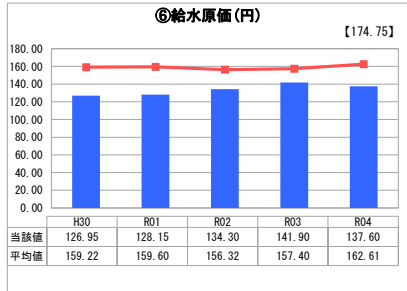
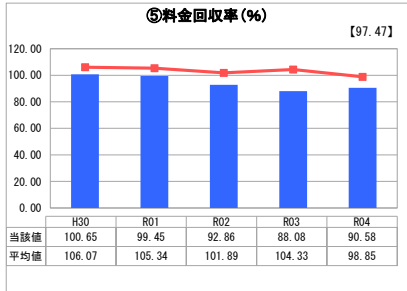
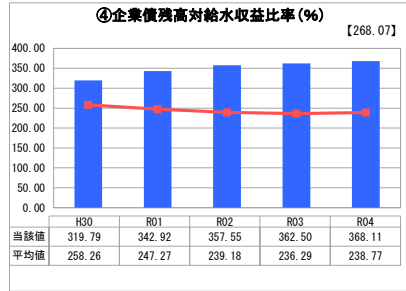
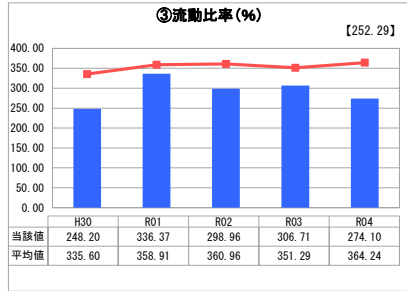
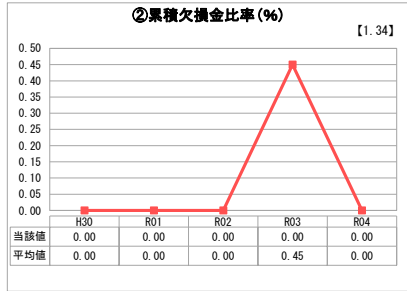
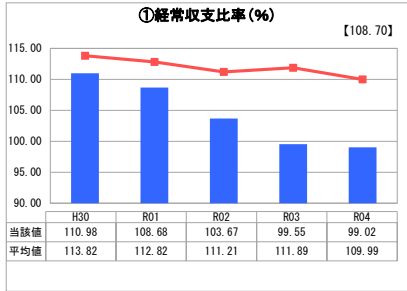
山口県 岩国市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	68.00	83.37	1,705	

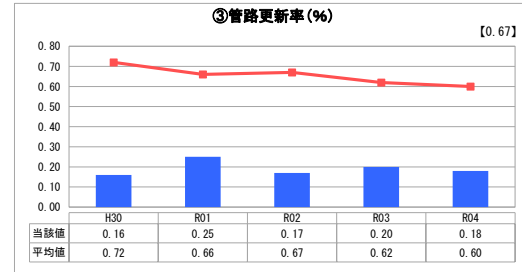
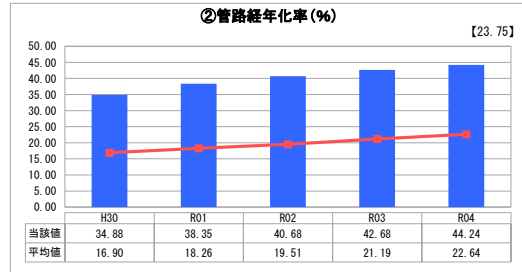
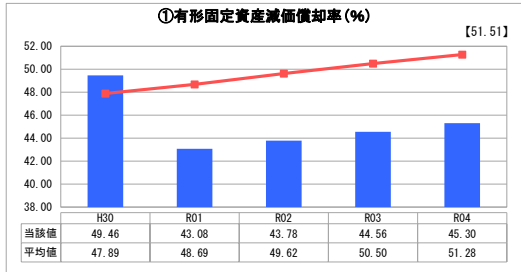
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
128,609	873.67	147.21
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
109,770	95.34	1,151.35

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率(%)
給水収益の減少と、維持費や修繕費など経費の増加により、悪化傾向にある。令和5年度に料金値上げを実施済みのため、改善される見込みである。
- ②流動比率(%)
類似団体と比較すると下回っているが、300%前後を保っているため、支払能力に問題はない。
- ③企業債残高対給水収益比率(%)
給水収益は減少傾向にあり、水道施設の老朽化による更新事業費が高まり、それに伴い企業債も増加傾向にある。計画的に施設の更新を遂行し、財源の確保のために国等の補助金を有効活用していく必要がある。
- ④料金回収率(%)
給水収益の減少と減価償却費や支払利息等の経費増により100%を切っている状況である。全国平均値との差も広がっており、早急に取り組むべき課題となっている。令和5年度の料金値上げにより改善される見込みである。
- ⑤給水原価(円)
施設の更新をしたことによる減価償却費の増加などにより年々費用は増加傾向にある。
- ⑥有収率(%)
類似団体平均値以上の有収率となっているが、配水管路の老朽化による漏水が多発している。定期的な巡視や漏水調査及び老朽管更新などを実施し有収率をできるだけ高く保つよう努力している。

2. 老朽化の状況について

減価償却率については、由宇地区給水事業等の大規模な資産が計上されたため一旦は低下した。現在の老朽管路状況は、管路総延長が910kmに対し、法定耐用年数を経過した管路延長は400kmに及ぶ。老朽管の更新は、法定耐用年数を超過し、重要度・緊急度を考慮した更新計画に基づいて実施しているが、依然として管路更新率は低い状況であり、目標耐用年数を見直すことで合理的な更新計画を策定していく。近年、管路以外の施設に関して多くの更新を行ってきたので、今後、管路について更新を強化していく計画である。

全体総括

岩国市の水道事業を取り巻く情勢は、高度成長時代に大量に建設された上水道施設や、旧簡易水道（平成28年度に統合完了、中山間地域に小規模な15水源、12浄水場、22配水池が広範囲に点在する）施設の維持管理や更新等で費用が嵩む中、人口減少等により給水収益が落ち込み財政を圧迫していたが、令和5年度の水道料金値上げにより各項目が改善していく見込みである。

今後も、持続可能な経営に努め、世代間負担の偏りができるだけ生じないよう、安全で安心して飲める水道水を安定的に供給し、最重要インフラとしての機能強化を図っていく構えである。